

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 4年 2月 7日

住 所 川越市今成2-29-4

県内企業等の名称 いるま野農業協同組合

代表者役職 氏名 代表理事組合長 大木 清志

いるま野農業協同組合

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

いるま野農業協同組合は「食と農を基軸に地域に根差した協同組合組織」であるJAの特性をふまえ、「食料・農業事業分野」「地域・くらし事業分野」「協同・組織運営分野」を通じてSDGsの達成に貢献いたします。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化を推進しコピー用紙の使用枚数を削減する <2020年度の数値> コピー用紙使用枚数:15,480,000枚	<2030年に向けた指標> 2020年度対比 35%減 <取組開始3年後に向けた指標> 2020年度対比 7%減
社会	明るい地域社会の実現と地域の発展に寄与する地域貢献活動(フードパントリーへ寄贈、防犯活動、美化活動、農業体験等)の実践 <2020年度の数値> ①地域貢献活動件数22件、②活動種類6種類、③参加人数700人	<2030年に向けた指標> ①地域貢献活動件数72件、②活動種類10種類、③参加人数1600人 <取組開始3年後に向けた指標> ①地域貢献活動件数38件、②活動種類7種類、③参加人数800人
経済	「彩のきずな」を金芽米(胚芽を残した無洗米)に加工して出荷することにより、地域の水質汚染や水資源の節約に貢献するとともに埼玉県産米の取扱量を増加させる <2020年度の数値> 金芽米原料玄米数量:510t	<2030年に向けた指標> 金芽米原料玄米数量:1,000t <取組開始3年後に向けた指標> 金芽米原料玄米数量:660t

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。